

## 授業概要

この授業では、育つ、育てる、生きることを、発達、臨床、教育などの心理学の視点から学んでいきます。児童期の子どもの学習、学校での諸問題（友人関係、いじめ、先生との関係）、しつけと子どもへの援助の問題をとりあげ、対応策を考えていきます。青年期は独立への準備段階です。青年期の様々な課題をとりあげ、対応策を考えていきます。

## 授業計画

第 1 回	ガイダンス
第 2 回	子どもの発達課題について
第 3 回	子どものパーソナリティと対人関係の発達
第 4 回	子どものメンタルヘルスについて
第 5 回	児童期から青年期へー移行期の課題（学校とは何か）ー
第 6 回	児童期から青年期へー移行期の課題（アイデンティティの確立）ー
第 7 回	児童期から青年期へー移行期の課題（親との関係）ー
第 8 回	感情から見た青年期の特徴
第 9 回	ソーシャルサポートについて
第 10 回	青年期の自己嫌悪感
第 11 回	青年期における親子関係の発達の变化
第 12 回	女子のグループという人間関係
第 13 回	大人になるとはということか
第 14 回	青年期における友人関係の発達の变化
第 15 回	青年期の孤独感
第 16 回	筆記試験

## 到達目標

1. 生涯発達の視点から、児童期から青年期にかけて生じる変化や問題を主要なエピソードに基づいて理解する。
2. 児童期・青年期の特徴について、発達心理学、教育心理学、臨床心理学の視点から理解する。
3. 青年期である自分についても理解を深める。

## 履修上の注意

- ・臨床心理学、発達心理学の知識は不可欠となります。
- ・教育心理学についても基本的な知識が必要となります。

## 予習復習

予習・復習の便宜を図るため、資料は毎時間配布します。リアクションペーパーの質問コーナーに質問していただければ、翌週、必ず応えます。講義の予習・復習になりますので、積極的に活用してください。

## 評価方法

学期末試験70%、授業内レポート（毎回提出するリアクションペーパーへのコメント、講義への参加意欲等）30%で評価します。

## テキスト

- ・教科書名：『児童青年心理学』
  - ・著者名：杉山 雅宏
  - ・出版社名：東京六法出版
- 資料はその都度配布します。